

しきなん shikinan

敷島南小学校
学校便り NO.1
令和5年4月
学校長 五味 正年

令和5年度の始まり

春の温かい日差しが校庭をつつみ、チューリップの花が咲き、木々も若葉が茂り、草花の瑞々しい匂いがしています。すっかり春の装いとなりました。新たなエネルギーが満ちているようです。



敷島南小学校も新たな年度になり、新たな職員11名を迎え、新たな気持ちでがんばっていこうという気持ちで満ちています。年度始めの職員会議で1年間の方向性を決め、職員それぞれが忙しく子どもを迎える準備を行っていました。

4月5日(水)には、6年生が入学式の準備のために登校してくれました。担任の先生の指示のもと、一生懸命に会場を作っていく姿を見ることができました。自分たちで仕事を見つけ、積極的に動く姿は、今年度の敷島南小学校を背負って立つリーダーとして、とても頼もしく感じました。



4月6日(木)、今年は、ピカピカの1年生69名を迎えました。入学式では、担任の先生から一人一人の名前を呼名されたとき、元気な声で「はい」と、応えることができました。これから、本校の1年生としてがんばってくれそうな予感がしました。また、昨年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響ため、6年生の歓迎のセレモニーは行われていみせんでしたが、3年ぶりに行うことができました。6年生が自分たちで考えた敷島南小学校の学校生活の様子の劇を行い、1年生に学校の様子を知らせることができました。入学式を通して、6年生はリーダーとして自覚もち、1年生はかっこいい6年生の姿を見ることができました。とても良い入学式になりました。



4月7日(金)には、新任式・始業式を行い、新任の先生は全校児童と顔を合わせました。全校児童424名の子どもたちの「あいさつ」は迫力があり、とてもいい気持ちになりました。また、新年度の始まりに、期待に満ちた表情で話を聞く子どもたちを見ると、これからはとても楽しみにになりました。

ある教室をのぞいて

始業式から1週間たった4月13日のこと、各学級では授業が始まっていました。子どもたちは真剣に先生の話に耳を傾け、集中している様子がうかがえました。ある教室の前を通りかかると、あまりにも真剣に子どもたちが学習に向かっているのが、どんな勉強をしているか興味が湧きました。少しなら一緒に授業を見させてもらってもいいかなと思い、後ろの扉を開け、そっと中に入り、静かに授業を聞くことにしました。

そこでは、黒板に「なぜ、ろう下は走ってはいけないの?」と書かれていました。ともすると「そんなのあたり前じゃん。」と書いてしまいがちです。お家の方だったらどう答えますか? 「ぶつかって危ない。」とか「すべて転んでけがをする。」など答えられますよね。子どもたちは一生懸命考え、自分の意見を書き出し、みんなで共有するためにそれらを発表していきました。面白かったのは、子どもたちならではの視点から考えた意見でした。



この授業を見せていただきましたが、担任の先生は、子どもたちの考えをしっかりと受けとめ、一人一人の意見を大切に扱っていました。心情的なこと、安全面、迷惑などを考えて、子どもと教師で総合的に「ろう下を走ってはいけないこと」を確認していました。

ここで終わりかなと思ったのですが、ここで終わりではなかったのです。心情的なことや、安全面、迷惑などは、全ての子どもたちが同じ価値観を持っているとは限りません。子どもによってはいろいろな捉えをもち、判断が変わってきてしまうこともあるかもしれません。(この場合はそうならないかもしれませんが。)しかし、先生は、守らなければならない根拠があることを最後に子どもたちに伝えたのです。それは、敷島南小学校には、「校舎内では、右側通行を守り、静かに歩く。」というルールがあることです。敷島南小学校のルールは、敷島南小学校でみんなが気持ちよく生活をしていくための法律のようなものだといっていたのが印象的でした。